

第3回 泉佐野市地域公共交通協議会 議事録

日時：令和6年8月9日（金）14時00分～15時00分

場所：泉佐野市役所 本庁5階第1会議室

委員名簿

【敬称略】

《委員》

関係区分	所属・職名	氏名	備考
市職員（特別職）	泉佐野市副市長	真瀬 三智広	会長
学識経験者	独立行政法人国立高等専門学校機構和歌山工業高等専門学校環境都市工学科准教授	伊勢 昇	副会長
交通事業者	南海電気鉄道(株)公共交通グループ経営統括部課長	松崎 彰宏	
	西日本旅客鉄道(株)近畿統括本部阪奈支社地域共生室担当室長	杉田 精教	
	南海ウイングバス(株)取締役営業部長	讃井 聡	
	(一社)大阪タクシー協会常任理事地域交通委員長 (大阪第一交通(株)社長)	芝辻 徹	
	南海ウイングバス(株)労働組合書記長	尾原 健一	
関係行政機関	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官(輸送部門)	中村 洋一	
	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官(総務企画部門)	釈迦戸 久夫	
	大阪府都市整備部交通戦略室交通計画課課長	江藤 良介 (井本 昌彦)	(代理出席)
	大阪府岸和田土木事務所長	濱田 雄一郎 (下川 昌)	(代理出席)
	泉佐野警察署交通課長	大仲 俊司 (小井出 信)	(代理出席)
公共的団体	泉佐野商工会議所専務理事	上野 公義	監査
	泉佐野市町会連合会連合会長	松浪 雅彦	
	泉佐野市長生会連合会副会長	芝野 久己	
市職員（一般職）	まちの活性課長	今西 紀彰	監査
	まちの活性課地域振興担当参事	宮本 真彰	
	地域共生推進課長	古谷 規晃	
	都市整備部長	高橋 範光	
	道路公園課長	河野 博次	

《オブザーバー》

関係区分	所属・職名	氏名	備考
関係行政機関	国土交通省近畿地方整備局建政部都市整備課長	青山 琢人	欠席
	田尻町事業部都市みどり課長	寺島 潔	

協 議 会 概 要

1 開 会

2 議 事

- (1) 泉佐野市地域公共交通計画策定に向けて
- (2) 新たな交通サービスの導入に向けて

3 その他

4 閉 会



議 事 要 旨

1 開会

○事務局（泉佐野市 道路公園課交通対策担当 休井係長）の司会により開会（14 時 00 分）

○配布資料の確認（配布資料は以下の 5 点）

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 配席表
- ・ 資料 1 地域公共交通計画の策定に向けて
- ・ 資料 2 新たな交通サービスの導入に向けて

○事務局より変更となった委員の紹介

- ・ 西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部阪奈支社地域共生室長、中嶋和政委員から杉田精教委員に変更

○欠席者と代理出席者は以下のとおり

- ・ 欠席者
（オブザーバー）国土交通省近畿地方整備局建政部都市整備課長、青山琢人氏
- ・ 代理出席者
大阪府都市整備部交通戦略室交通計画課課長、江藤良介委員 代理出席：井本昌彦課長補佐
大阪府岸和田土木事務所長、濱田雄一郎委員 代理出席：下川昌課長補佐
泉佐野警察署交通課長、大仲俊司委員 代理出席：小井出信課長代理

○本日の協議会は委員 20 名全員が出席し、会議成立要件の過半数を満たしていることが報告された

○以降、泉佐野市地域公共交通協議会規約第 9 条の規定に基づき、真瀬会長が議事を進行した

2 議事

(1) 泉佐野市地域公共交通計画策定に向けて

事務局	※事務局より「資料 1 泉佐野市地域公共交通計画策定に向けて」を説明（略）
真瀬会長	・ 只今の事務局からの目標に向けた施策と事業主体の各基本方針施策の方向性、施策の説明について、何かご意見やご質問はあるか。
伊勢副会長	・ 4 点ほど聞きたい。 ・ P3、自治会による移送サービス（「すんまさんの会」）は無償ボランティア輸送になっているが、右下に謝礼の記載がある。謝礼の取り扱いについて、任意であれば問題ないはずだが、謝礼を強制する形だと問題があるのではないか。
中村委員	・ 買い物支援のような形で付き添って移動支援をして、サービスを受けた方が自主的に謝礼を支払うのは問題ないと思うが、この資料だけを見ると、強制的に走行距離に合わせて謝礼を支払うサービスのように見えるので「道路運送法の許可・登録を要しない輸送」とするのは無理があるような気がする。
伊勢副会長	・ この事業を支援していくのは危ないのではないか。

中村委員	・運用の中身もしっかり聞かないといけない。単純に移送行為に対して謝礼を貰っているということで、自発的な謝礼ではなく意図的に決まった金額を払う形に見える。運輸局として、問題ないとはなかなか言いにくい。
伊勢副会長	・事業の内容を確認し、必要があれば是正していただきたい。 ・2点目、P6の「方向性1 交通不便地域の解消」で、交通不便地域の解消に関わる施策だと思っている。個別の施策はともかく、シェアサイクルや電動キックボードの導入は交通不便地域のみ限定したサービスという捉え方でいいのか。 ・タクシーの活用にして、交通不便地域の解消ということで、今ある不便地域を解消することか、あるいは今ある交通公共交通の提供地域を維持するという広い範囲で考えられているのか、この辺が判然としないところがある。説明を加えていただければと思う。
事務局	・海側の市街地には、観光でお越しいただいた方のシェアサイクルは既にある。今後は、交通不便地などでの導入についても検討していきたいと考えている。
伊勢副会長	・P8、左下の「施策2-1-2 適切な運賃設定」、具体的な取組イメージ（案）の1個目「現在無料で運行中のコミュニティバスの運賃の維持に努める」は、これからも無料を維持するということでもいいのか。 ・元々有料だったが無料にしたことで利用客が増え、以前から乗車していた乗客が座れなくなったという話を以前聞いたかと思う。そういうことを考えると、無料より運賃を収受した方がいいケースも出てくるような気がする。「適切な運賃設定」ということで、適切な運賃を決めるという意味では無料を維持することが本当にいいのかどうか少し気になる。
事務局	・元々、泉佐野市のバスは料金を頂戴しており、それを無料化させていただいた形になる。 ・それにより利用者がかなり増え、時間帯によっては座りにくい時もあると聞いているが、市としても一旦無料化したものを、また有料に戻すのは難しい面もあると考えており、財政状況等にもよるが、引き続き無料で運行できたらと考えている。
伊勢副会長	・最後にP10、左下の「施策3-1-2 地域住民の活動に対する適切な支援」で、おそらく最初に出た「すんませんの会」のような移送サービスをいかに支援するかをイメージされているように思う。「方針3 多様な主体の連携による地域公共交通サービスの育成」に関連する施策ということで、一般的に公共交通があまり無い、民間事業者がなかなか提供できないところに対してサービスする際に、市民参加型の交通サービスの検討をよくやる。市民と行政と事業者がワークショップ等で協議し、地域のニーズにあったオーダーメイドなサービスを作っていくイメージが強いが、その辺の文言は無い。計画に入れず、やらないという方向で解釈したらよろしいか。
事務局	・先ほどご指摘いただいた「すんませんの会」については、こちらでも詳細を確認したいと考えている。 ・地域団体との連携ということで資料を挙げさせていただいたが、今後また検討して、どうしていくのか方向性を決めていきたい。

真瀬会長	・4点ほど、ご質問とご意見をいただいた。他に何かご意見等ないか。 ・「すんませんの会」の、何キロ行ったら150円渡すとか明確に料金が決まっているような書きぶりが、特に気になる。
事務局 (コンサル)	・「すんませんの会」は道路運送法の許可・登録を要しない輸送の位置づけである。平成30年の法改正により、登録を要しない輸送においてもガソリン代は収受してもよいことになっているかと思う。「すんませんの会」の移送に対する150ポイントはガソリン代相当の謝礼として設定されている。ご近所付き合いの中で手助けをしていただいた際に、本来はお金や物品でお手伝いに対するお礼をするところ、お礼の品を準備する手間も省くため、ポイント券を自治会で作成されている。あくまでもガソリン代相当のポイントとなっているので問題はない形ではあるが、協議会資料で書き方が足らず、勘違いさせてしまった。
中村委員	・ガソリン代については、おっしゃる通りだと思う。 ・ただ、書き方として、ガソリン代は値上げや値下げがあると思うので、一定期間で見直すという前提で記載していただければ、問題があるとは言えない。イメージとしては、走行距離を燃費で割ってガソリン価格を算出し、キロ設定を作っていただいたら、我々も違法とはなかなか言えない。そういうことをお願いできればと思う。

(2) 新たな交通サービスの導入に向けて

事務局	※事務局より「資料2 新たな交通サービスの導入に向けて」を説明（略）
真瀬会長	・今後の方針の説明のなかで、何かご意見やご質問はあるか。
伊勢副会長	・議事1の前の協議会の振り返りに関する説明で、公共交通の空白地域は駅から800m以上、バス停から300m以上離れている箇所と定義するとのことだった。 ・新たなサービスは、公共交通空白地域の解消が目的とされているが、確かデマンドは駅から800mというのは考慮しないという話で進めると聞いたかと思う。それは間違いないか。 ・長滝駅から800mの円を描くと、今回の対象エリアは、公共交通空白地域にならないような気がするので、エリアの設定、定義をもう少しきめ細かくやった方がいい。
事務局 (コンサル)	・協議会資料ではバスカバー圏域の300mを示すバッファのみを描いているが、末広小学校区の、今回検討するエリアの北部は、駅800m圏からも外れている空白地となっている。そのような図を今回お示しできておらず申し訳ない。上之郷小学校区の南部も空白地となっている。 ・副会長がおっしゃるように、エリアの細かい決め方について、今回、実証実験の対象でない地域の方に対して説明する際に、確かな基準などを設ける必要があるかと思うので、次回の協議会時にはご説明さしあげたい。
真瀬会長	・芝辻委員。前回、デマンドについて地元の熱意が必要であるとのことご意見を頂戴した。 ・事務局はデマンドの実証実験を検討しているが、デマンドについてのご経験上の話をしていただければありがたい。

芝辻委員	・堺市や河内長野で経験があるが、全部やり方が違う。河内長野は定路線で 30 分間隔に運行しており、住民、自治会の熱意があった。堺市は規模が大きく 11 コースあり、デマンド型となっている。 ・デマンドといっても色々なやり方がある。今回は AI が入る予定だろうか。
事務局	・入れる予定にしている。
真瀬会長	・AI のご経験はあるか。
芝辻委員	・AI での実証を泉南市や熊取町でさせてもらったが、結果はタクシーになっていた。AI が活躍するまでもなく、ほぼ 1 名の乗車だった。だから今回、地域の方の熱意がどれくらいあるかで、本番にいけるかどうかが決まると思う。 ・行政が、少しでも人を外出させる施策の 1 つとしては本当にありがたい。毎回、どこの市町でも話をしているが、まず外出させる施策を打ってもらって、そのなかで地域活性化を図る。お年寄りが健康になって、子どもにももっと公共交通を認識してもらおう。この会議とは外れるが、はたらく車大集合!! (6 月 1 日開催「いずみさのこども未来応援フェスタ」)、もありがたかった。うちのタクシーも展示させてもらって、子どもさんに人気だった。 ・高齢者対策と子ども対策、両方やっていただくなかで、少しでも外出する施策を組んで皆さん元気になってもらって、病院代が安くなって、その分、交通を使ってもらおう。話はそれるが、皆さんがもっと外出するようになれば、特殊詐欺も減るだろう。家に 1 人で閉じこもっている方が被害に合うと警察から聞く。 ・最終的には、タクシーでなくても、歩いてでも自転車でもバスでも選択肢を広げられるようにしてもらえればありがたい。
真瀬会長	・他に何かご意見、ご質問はないか。特に無いようなので、議案はこの 2 点でございますので、以上で本日予定の議事については終了する。

3 その他

- | | |
|------|--|
| 事務局 | ・ 次回の協議会の開催は、令和 6 年 10 月頃を予定。詳細は改めてご案内をする。 |
| 真瀬会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より、次回の開催は 10 月頃という提案があった。委員の皆様には、これに合わせてご案内するので、ご出席の方よろしくお願い申し上げます。 ・ 以上で、第 3 回泉佐野市地域公共交通協議会を閉会する。 |

4 閉会

○真瀬会長による閉会の挨拶内容は以下のとおり

- ・ 本日はお忙しいなか、ご出席賜りありがとうございます。先ほど大阪タクシーの芝辻委員から貴重なご意見をいただいて、もちろん我々も実証実験とはいえ、たくさんの人のご利用を願って、引き続き、続けていければというふうに考えておりますので、また皆様方のご協力を一つよろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

○事務局の司会により閉会（15 時 00 分）